

「文珍」林徽因 著

二玄社『中国現代文学珠玉選 [小説3]』より

わが家は、複雑な事情の下でよその町へ引っ越すことになり、自分はお荷物になった。七歳の頃だったろうか。もうだいぶ物心もついていたようだ。篋姉さんが家の者と相談し、嫁ぎ先で半年ほど預かってくれるというので、私は姉さんのところへ送り届けられた。-----

作者紹介 林徽因 (1904—1955)

浙江省杭州生まれ。本名・林徽音。1909年、祖父母の住む邸宅に預けられ、伯母、従姉妹らと大家族生活を送る。辛亥革命後の12年、上海へ転居。「文珍」はこの頃の体験を基に書かれたもの。30年代半ばより新月派の「一代才女」と称えられ、その詩はイメージ豊かな言葉で自然の景物や細かな感覚を表現し、清麗な風格と音楽美に富む。小説は短編6本のみだが、社会の思い現実を受けとめつつ、詩人らしい繊細な言語感覚で静謐かつ清浄な作品世界を創造し、独特の境地を開いた。中華人民共和国の国章を設計した一人であると共に、中国の古建築を調査・整理し、中国建築史の祖とも称される。

講師：永井 英美 氏 (立命館孔子学院中国語講師)

読書会は原則隔月で偶数月に開催します。

中国の短編小説を日本語訳で読んで感想を語り合い、また作者について学びます。(なるべく事前に該当月の作品を読んできてください。)

■テキスト・作品

現在、二玄社『中国現代文学珠玉選 [小説3]』所収の作品を順に読んでいます。テキスト購入費は参加者負担ですが、現在絶版となっており、前日まで、もしくは当日の開始30分以上前にお越しください、事務局で作品のコピーをお渡しできます。図書館や古書をご利用いただいても結構です。

読書会

中国の小説に興味がある方、
本を読むのが好きな方、
一緒に「読書会」をしませんか。

4/27

土

12:30~14:30

立命館孔子学院図書室 **参加無料**

■お申込み方法

前日までに孔子学院事務局まで、電話、FAXもしくはメールでご連絡下さい。

■お申込み・お問合せ先

立命館孔子学院

〒603-8577

京都市北区等持院北町56-1

立命館大学 アカデミア立命21内

TEL: 075-465-8426

FAX: 075-465-8429

Mail: koza@st.ritsumei.ac.jp

<http://www.ritsumei.ac.jp/confucius/>